

第47回 山梨工業会神奈川支部 総会「特別講演」のご案内

日時 : 2019年 6月15日(土) 15:00 ~ 16:30 3F やまゆり

場所 : ワークピア横浜 (横浜市中区山下町24-1) 電話 045-664-5252
(JR横浜駅より地下鉄みなとみらい線「日本大通り駅」下車3番出口より、徒歩3分)

テーマ: 『南極の観測と暮らし』

概要: 人間活動から遠く離れた南極では、地球環境の健康状態を見ることが出来る。「オゾンホール」は昭和期基地で初めて観測された。氷河を掘削した「アイスコア」からは、地球温暖化の情報を得ることが出来る。また、極夜を彩る「オーロラ」は太陽活動と密接に関連している。

60年を数える昭和基地の観測では、地球環境と人間活動の共存を考えるための重要な数多くのデータが提供されてきた。基地における日々の観測と暮らしは、厳しい環境のもとで奮闘する越冬隊員によって支えられている。

*総会時に竹内先生ご自身がお撮りになった“実写記録”をご覧ください。



多方面でご活躍の バイタリティーある先生です。

秋田県立本荘高校卒。(名刺には“にかほ市 ふるさと宣伝大使”)

1977年 慶應義塾大学工学部卒

1999年 山梨大学工学部教授。 生命環境学部副学部長

2003年から 工学部循環システム工学科、大学院持続社会形成専攻、
環境社会創生工学専攻教授も兼務。

96-97年 第38次日本南極地域観測隊(越冬オーロラ観測)に参加。

専門分野は環境科学、プラズマ科学。 バイオディーゼル燃料(BDF)の利活用や
プラズマ衝撃波による宇宙線の加速機構の研究に取り組む。

他に 白瀬南極探検隊記念館参与 秋田県高等学校学術顧問など。